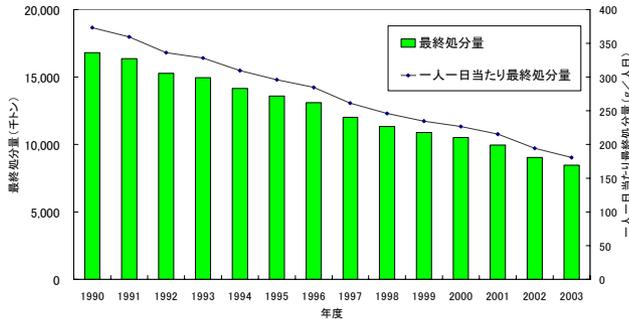


指標：一般廃棄物の最終処分量と一人一日当たり最終処分量、残余容量と残余年数の推移

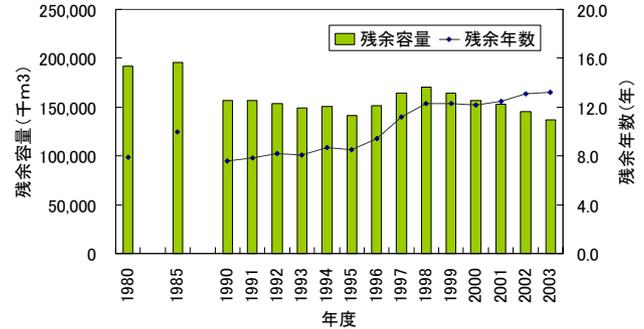
リサイクル率の向上によって、最終処分量は近年一定して減少しており、排出量の約21%（1999年度）まで削減を達成している。

最終処分場の残余容量は、'90年代に大きな変化は認められないが、最終処分量の軽減により残余年数は増加傾向を示している。

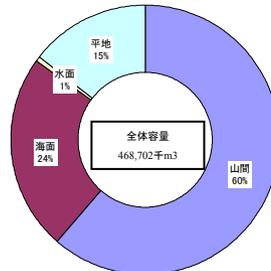
一般廃棄物の最終処分量と一人一日当たり最終処分量の推移



一般廃棄物の最終処分場の残余容量と残余年数の推移



一般廃棄物の最終処分場の立地（2001年度）



残余年数 = 最終処分場残余容量 / 最終処分量 / 1.225

重量-容量換算係数として、1.225m³/トンとしている。